☆☆　新型コロナウイルス感染症ニュース　第 74 号　2021.7.5　☆☆

梅雨明けを控え蒸し暑い日が続いておりますが、会員の先生方におかれましては日常診療でお忙しいところ、引き続き接種事業へご協力いただいており感謝申し上げます。

今回は仙台市内における新型コロナウイルスワクチン接種の現状と今後学校などにおいて医療従事者不在で抗原検査が可能となるガイドライン等が出されましたので情報をお届けいたします。また、特集として勤務医部と地域医療部より近況をご報告いたします。

仙台市における新型コロナウイルスワクチン接種の現状

明日、**7 月 6 日から**の新型コロナウイルスワクチン接種の**新規予約の停止**について、本日仙台市より正式に発表がなされました。一方、クーポン券（接種券）は既に 7 月 2 日には 16 歳以上の市民の方（平成 18 年 4 月 1 日までに生まれた方）に発送されましたので、今後も医療機関へはお問い合わせがあるかと思います。お手数をおかけいたしますが、**一時的な新規予約停止へのご協力、ご対応**をお願いいたします。

昨日「依頼した本数のワクチンが配送できなくなる」と受け取れる FAX が送られましたが、現状、ワクチンの供給見通しが不明確になる中、これまでのペースで供給した場合、在庫が枯渇する懸念がある趣旨とのことです。今後、少なくとも１回目の接種がお済の方の２回目の接種を確実に接種するためにも、**現状の接種予約数**と、各医療機関で**保管されているワクチンの数**をきちんと把握する必要がありますので、本日通知と同時に届けられました、**仙台市のアンケートにご協力**をお願いいたします。また、ワクチンの破棄を極力減らすことと、**予約数以上のワクチンの要求は避けて**いただくよう、お願いいたします。

参考となります 6 月 30 日 17 時の時点の V-SYS に入力された接種件数です。

・個別接種	198,374 回（1 週で 52,303 増）	（うち 1 回目が 143,729 回）
・集団接種	13,624 回（ 4,767 増）	（うち 1 回目が 13,624 回）
・大規模接種	49,558 回（13,734 増）	（うち 1 回目が 32,894 回）
・合計	261,556 回（70,804 増）	（うち 1 回目が 190,247 回）

しかし、この入力された接種件数とすでに配送されたワクチンの本数には違いがあります。未接種で医療機関で保管されている本数と推定されますが、接種済みで未入力の件数も考慮する必要があります。今後の確実な接種計画を立てるため、**接種後の速やかな V-SYS への入力**と、**本日のアンケートへのご協力、適正なワクチンの使用**を重ねてお願いいたします。　（CVPT　福壽　岳雄）

医療従事者不在時における新型コロナウイルス抗原定性検査のガイドライン等について(2021.6.29)

高等学校においては、クラスターの発生が継続的に見られており、また、感染の場面は部活動が関係している事例が多く見られる中、万一感染者が学内に生じた場合には、早期の発見・対応が求められます。こうした観点から、国から「抗原簡易キット」（以下「キット」という。）を無償で配布されることになりました。被検者の同意を得た場合、検体採取に関する注意点等を理解した高等学校等の教職員が立ち会うことで使用できることになりました。

これによりまして、今後無症状、有症状にかかわらず「抗原検査で陽性」の方が確定診断を行える医療機関に受診されることが予想されるため、文部科学省初等中等教育健康教育・食育課より日本医師会に「医療従事者の不在時における新型コロナウイルス抗原定性検査のガイドライン等について」の周知依頼がありましたのでお知らせいたします。

【 検査対象 】

出勤後や登校後などに、発熱、咳、咽頭 痛、頭痛、筋肉痛、下痢、倦怠感などのかぜ症状その他新型コロナウイルス感染症の初期症状として考えられる症状が認められた者

※出勤等の前に既に症状を自覚している場合には、出勤等せずに医療機関を受診するようすすめる。

※施設等内の有症状者が、その場で検査を実施せずとも直ちに医療機関を受診できる場合には、検査の実施を待たずに速やかに受診するようすすめる。

※他者による鼻腔ぬぐい液の採取は感染等のリスクを伴う可能性があることから、医療従事者の不在時における抗原定性検査は、有症状者本人が施設等の職員の説明等により検査の実施法を理解し、他者の介助なしで自己採取を行うことが可能な場合にのみ実施。

特集 医師会各部会からの報告

勤務医部より

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がパンデミックになって以来、勤務医部としては、病院として得られる COVID-19 の情報を常に仙台市医師会に提供して参りました。その一方で、COVID-19 第 1 波が押し寄せてマスクや手袋、ガウンなど身を守る装具が手薄なときに、医師会経由で様々な感染対策物資が集まり、各病院はそれらの配布による恩恵を受けました。多くの勤務医に仙台市医師会の存在感を示せたのではないでしょうか。

COVID-19 制圧の鍵はワクチン接種が握っているといっても過言ではありません。開業医会員が個別接種で多くの高齢者へのワクチン接種を進める一方、勤務医としては、個別接種を行っている病院はあるものの、集団接種において活躍の場を見出している場合も少なくありません。

COVID-19 の制圧に向けて、仙台市医師会の一員として勤務医部にできる貢献を今後も続けていく所存です。

（勤務医部　島村　弘宗）

地域医療部より

4 月に開始されたワクチン接種も早 2 カ月が経ちました。予約開始時の混乱などありましたが、会員の先生方のご協力により高齢者への接種は概ね順調だったと思います。当初、施設や在宅療養中の高齢者への接種が心配されましたが、こちらも会員の先生方のご尽力によりスムーズに進みました。この場をお借りして御礼申し上げます。今後、ワクチンの効果により高齢者施設でのクラスターが起こらないことを祈ります。

職域接種に予想を超える申し込みがあったことなどにより今後の供給が心配されていますが、引き続きご協力の程宜しくお願い致します。

（地域医療部　清治　邦章）

ニュース部より（74号担当　大和　一美）

新型コロナウイルスの感染拡大傾向がみられるなか、オリンピック開催も近づき引き続き警戒しなければいけない状況かと思います。会員の先生方の診療の一助となりますように情報発信をしていきたいと思います。

仙台市医師会へのご意見・ご質問等は FAX、メールでお願いいたします。

FAX：022-267-5193　　メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp